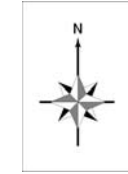
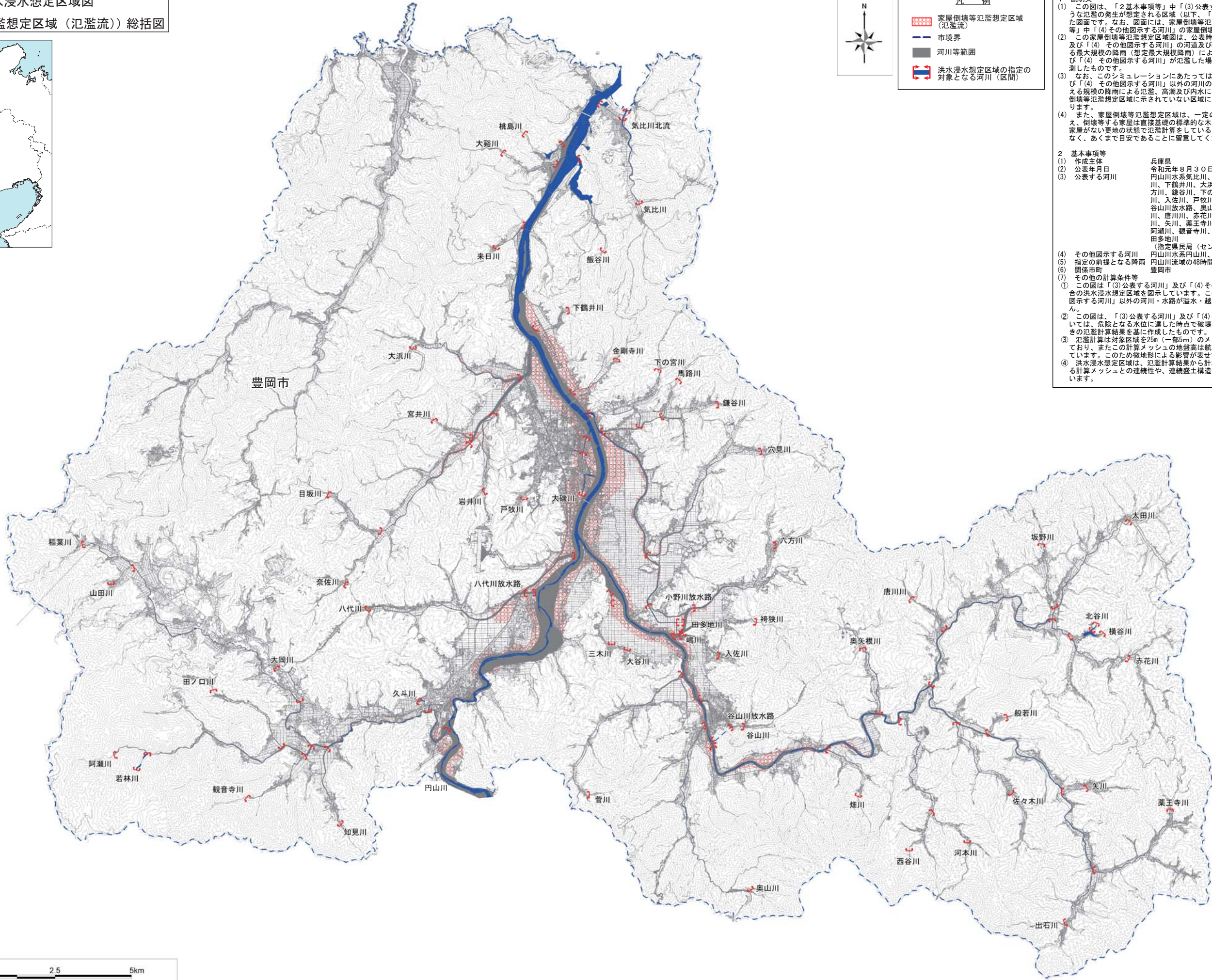


円山川水系 洪水浸水想定区域図  
 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)) 総括図



- 凡 例
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
  - 市境界
  - 河川等範囲
  - 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川(区間)

- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」という。)を表示した図面です。なお、図面には、家屋倒壊等氾濫想定区域を公表済の河川である「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」の家屋倒壊等氾濫想定区域も表示しています。
  - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(想定最大規模降雨)により「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に示されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
  - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
  - (2) 公表年月日 令和元年8月30日
  - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大路川、来日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大破川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川川、坂野川、北谷川、横谷川、赤花川、谷山川放水路、谷山川、入佐川、袴狭川、田多地川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、久斗川、三木川、大谷川、菅川、奥山川、西谷川、河本川、出石川、若林川、観音寺川、円山川、菅川、畑川、佐々木川、矢川、薬王寺川、知見川
  - (4) その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
  - (5) 指定の前提となる降雨 円山川流域の48時間流域平均総雨量 505mm(立野地点)
  - (6) 関係市町 豊岡市
  - (7) その他の計算条件等
- ① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
  - ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
  - ③ 氾濫計算は対象区域を25m(一部5m)のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
  - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構築物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。



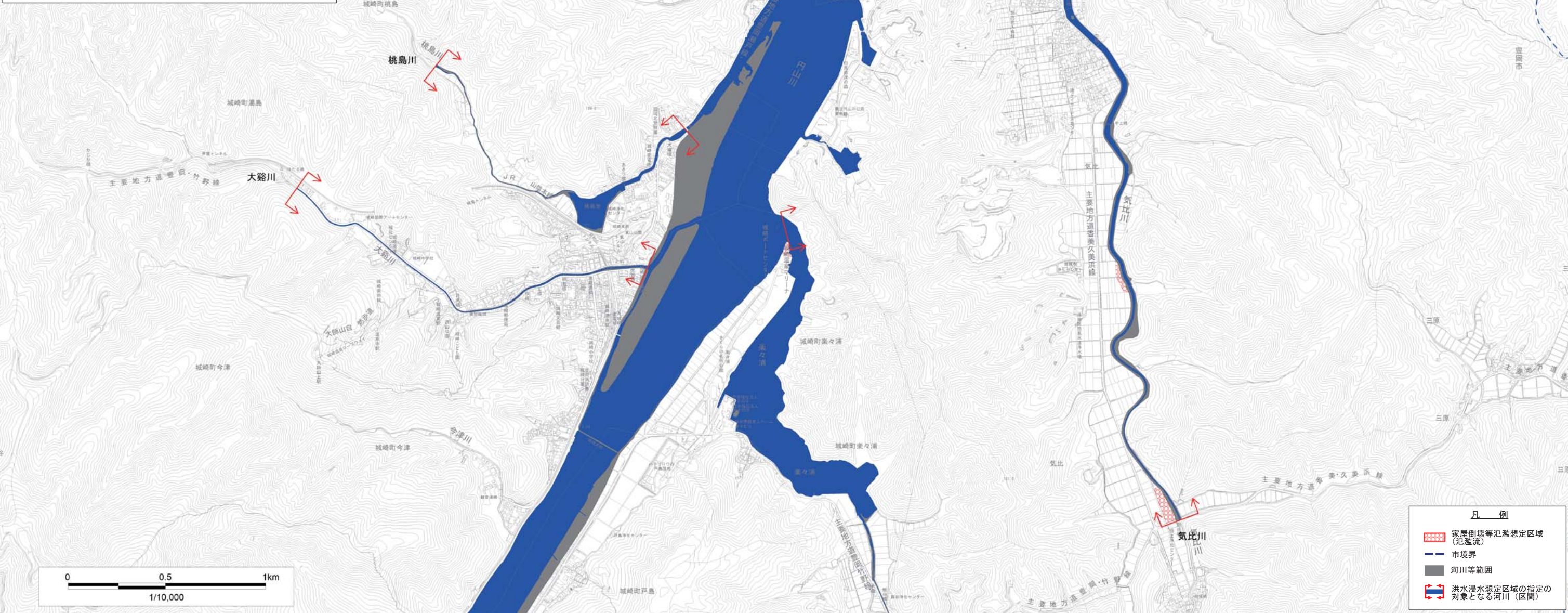






円山川水系 洪水浸水想定区域図  
 (家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)) 1/15

- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」という。)を表示した図面です。なお、図面には、家屋倒壊等氾濫想定区域を公表済の河川である「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」の家屋倒壊等氾濫想定区域も表示しています。
  - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(想定最大規模降雨)により「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に示されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
  - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
  - (2) 公表年月日 令和元年8月30日
  - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大谿川、来日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大磯川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、般若川、矢川、薬王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、嶋川、田多川
  - (4) その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
  - (5) 指定の前提となる降雨 円山川流域の48時間流域平均総雨量 505mm(立野地点)
  - (6) 関係市町 豊岡市
  - (7) その他の計算条件等
    - ① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
    - ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
    - ③ 氾濫計算は対象区域を25m(一部5m)のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
    - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。

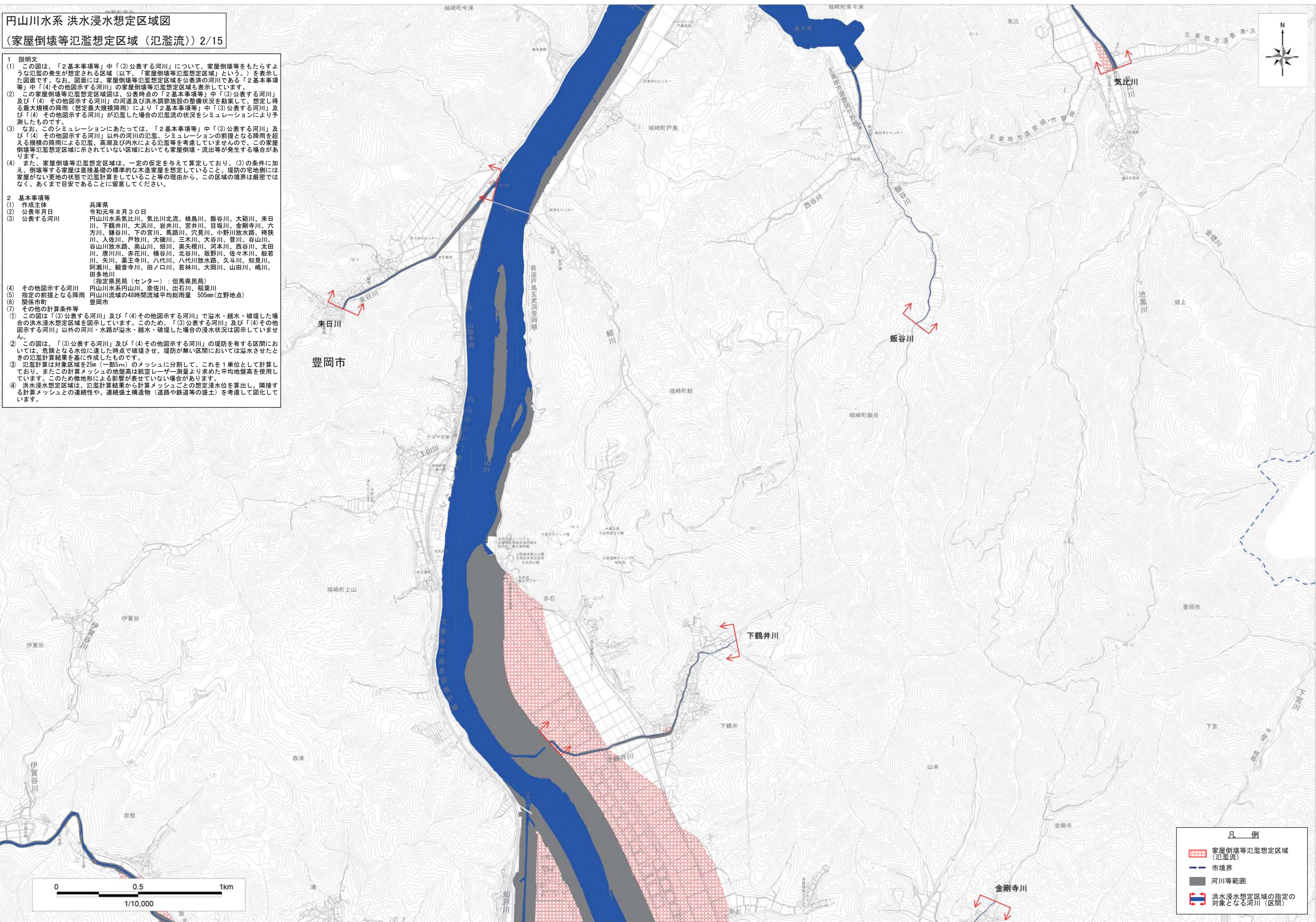


この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。



円山川水系 洪水浸水想定区域図  
 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)) 2/15

- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」という。)を表示した図面です。なお、図面には、家屋倒壊等氾濫想定区域を公表済の河川である「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」の家屋倒壊等氾濫想定区域も表示しています。
  - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(想定最大規模降雨)により「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に示されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
  - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
  - (2) 公表年月日 令和元年8月30日
  - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、横島川、飯谷川、大谷川、来日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大磯川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、般若川、矢川、葉王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、嶋川、田多地川
  - (4) その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
  - (5) 指定の前提となる降雨 円山川流域の48時間流域平均総雨量 505mm(立野地点)
  - (6) 関係市町 豊岡市
  - (7) その他の計算条件等
    - ① この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
    - ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
    - ③ 氾濫計算は対象区域を25m(一部5m)のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
    - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。



凡 例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 市境界
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川(区間)





この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。

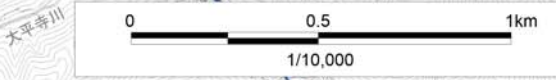


円山川水系 洪水浸水想定区域図  
 (家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)) 3/15

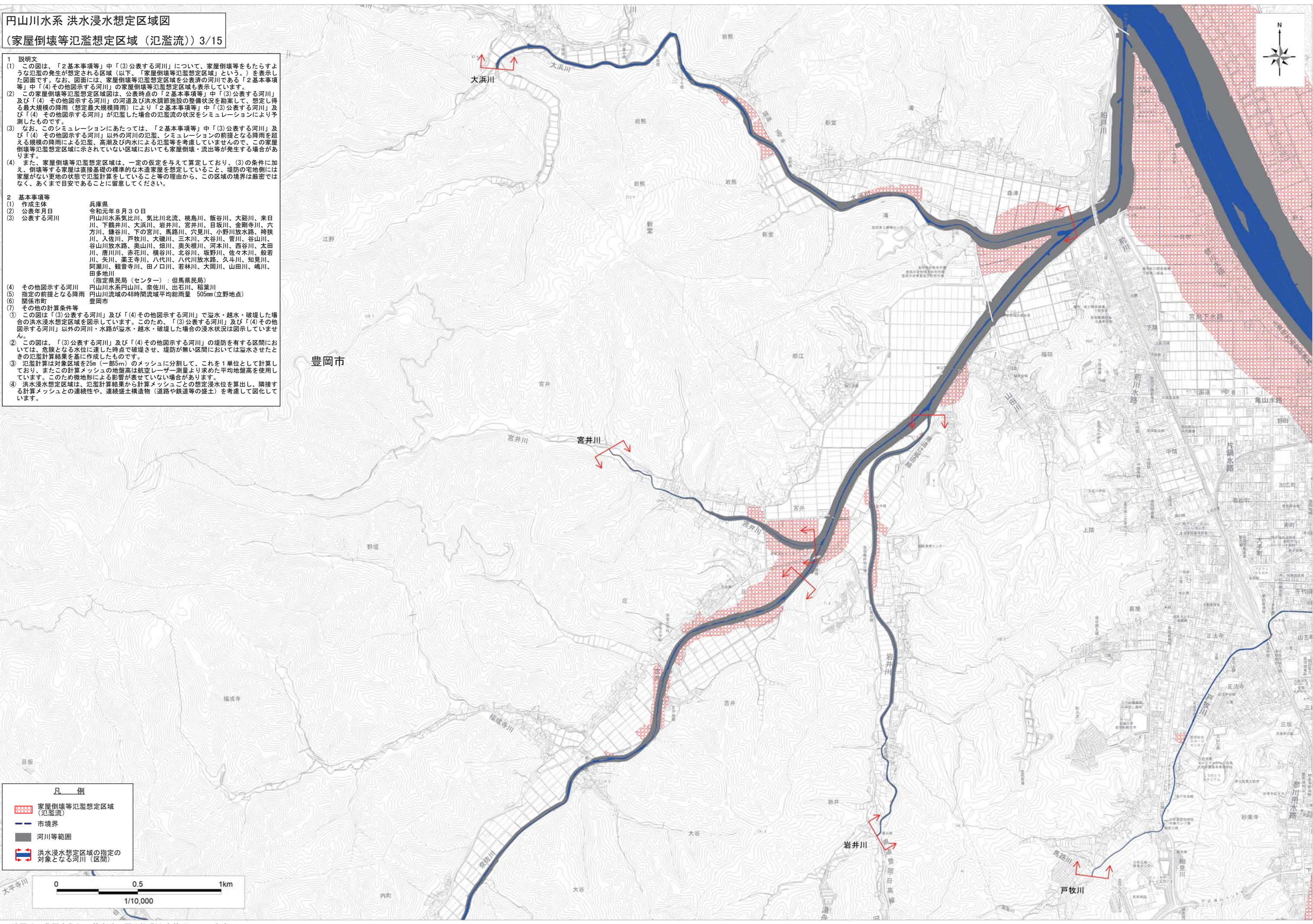
- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域 (以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」という。) を表示した図面です。なお、図面には、家屋倒壊等氾濫想定区域を公表済の河川である「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」の家屋倒壊等氾濫想定区域も表示しています。
  - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨 (想定最大規模降雨) により「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に示されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
  - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
  - (2) 公表年月日 令和元年8月30日
  - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大谷川、来日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大磯川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、般若川、矢川、葉王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、嶋川、田多地川
  - (4) その他図示する河川 (指定県民局 (センター) : 但馬県民局) 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
  - (5) 指定の前提となる降雨 円山川流域の48時間流域平均総雨量 505mm (立野地点)
  - (6) 関係市町 豊岡市
  - (7) その他の計算条件等
    - ① この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
    - ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
    - ③ 氾濫計算は対象区域を25m (一部5m) のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
    - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物 (道路や鉄道等の盛土) を考慮して図化しています。

凡 例

-  家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)
-  市境界
-  河川等範囲
-  洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川 (区間)

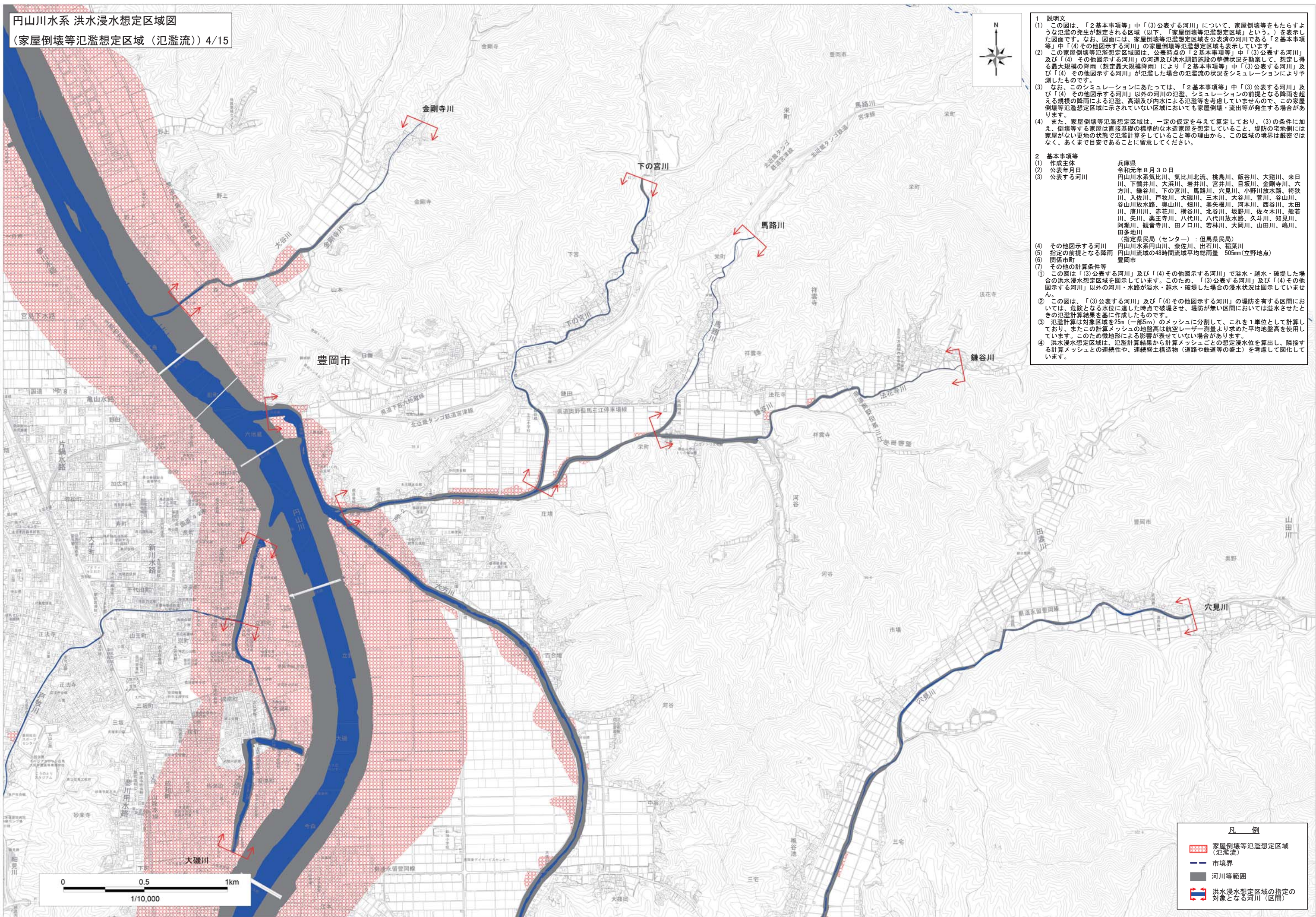


この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。





円山川水系 洪水浸水想定区域図  
 (家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)) 4/15



- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」という。)を表示した図面です。なお、図面には、家屋倒壊等氾濫想定区域を公表済の河川である「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」の家屋倒壊等氾濫想定区域も表示しています。
  - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定される最大規模の降雨(想定最大規模降雨)により「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に示されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
  - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、「(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
  - (2) 公表年月日 令和元年8月30日
  - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大谷川、来日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、穴方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴袴川、入佐川、戸牧川、大磯川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、般若川、矢川、養王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、嶋川、田多川  
 (指定県民局(センター):但馬県民局)
  - (4) その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
  - (5) 指定の前提となる降雨 円山川流域の48時間流域平均総雨量 505mm(立野地点)
  - (6) 関係市町 豊岡市
  - (7) その他の計算条件等
- ① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破壊した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破壊した場合の浸水状況は図示していません。
  - ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破壊させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
  - ③ 氾濫計算は対象区域を25m(一部5m)のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
  - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。

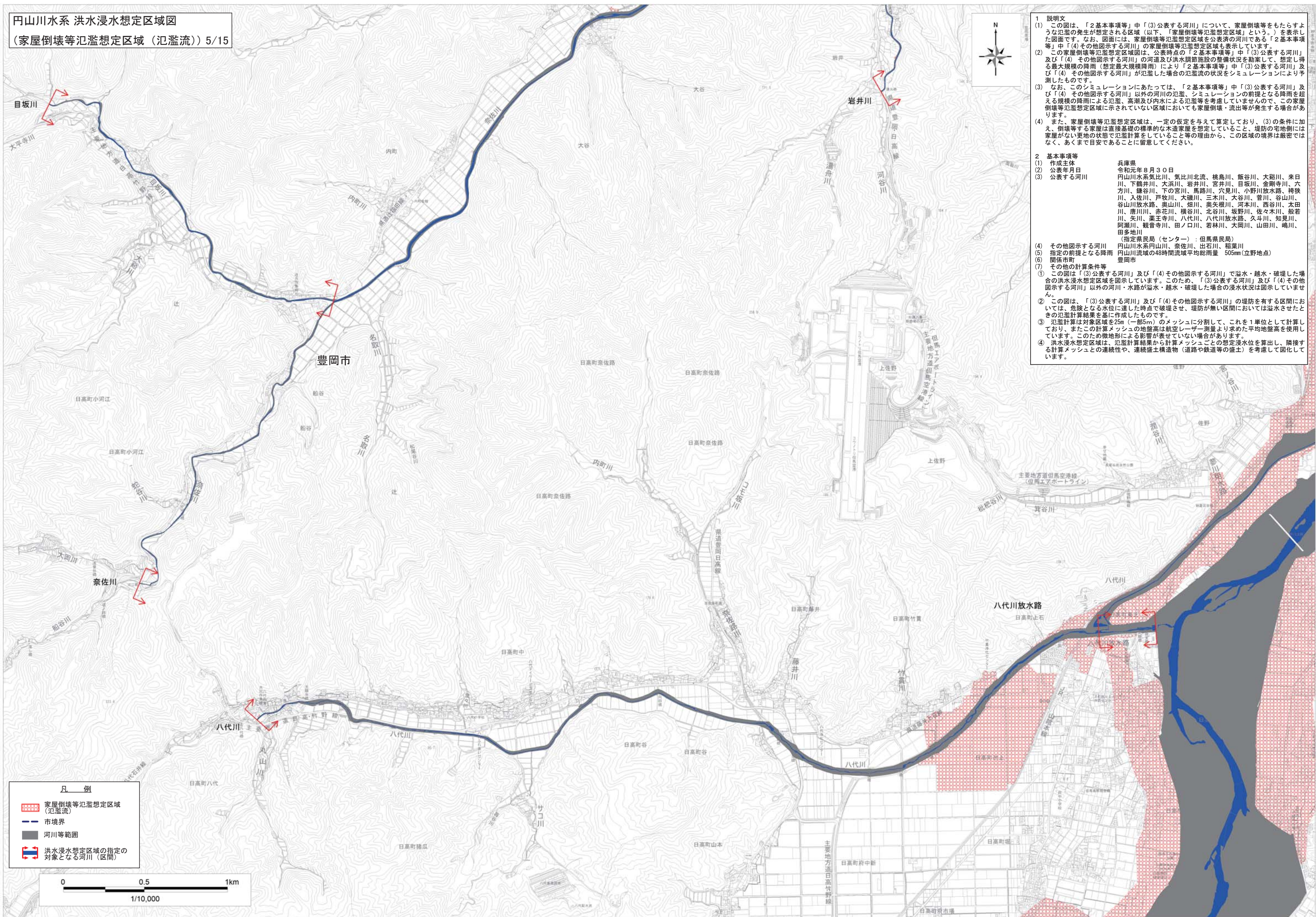
凡 例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)
- 市境界
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川(区間)

この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。

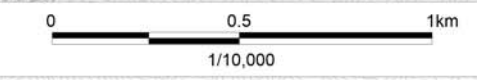


円山川水系 洪水浸水想定区域図  
(家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)) 5/15



- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」という。）を表示した図面です。なお、図面には、家屋倒壊等氾濫想定区域を公表済の河川である「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」の家屋倒壊等氾濫想定区域も表示しています。
  - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）により「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に示されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
  - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
  - (2) 公表年月日 令和元年8月30日
  - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大谷川、来日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大磯川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、鯉若川、安川、粟玉寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、嶋川、田多地川
  - (4) その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
  - (5) 指定の前提となる降雨 円山川流域の48時間流域平均総雨量 505mm(立野地点)
  - (6) 関係市町 豊岡市
  - (7) その他の計算条件等
- ① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破壊した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破壊した場合の浸水状況は図示していません。
  - ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破壊させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
  - ③ 氾濫計算は対象区域を25m（一部5m）のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表れていない場合があります。
  - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構築物（道路や鉄道等の盛土）を考慮して図面化しています。

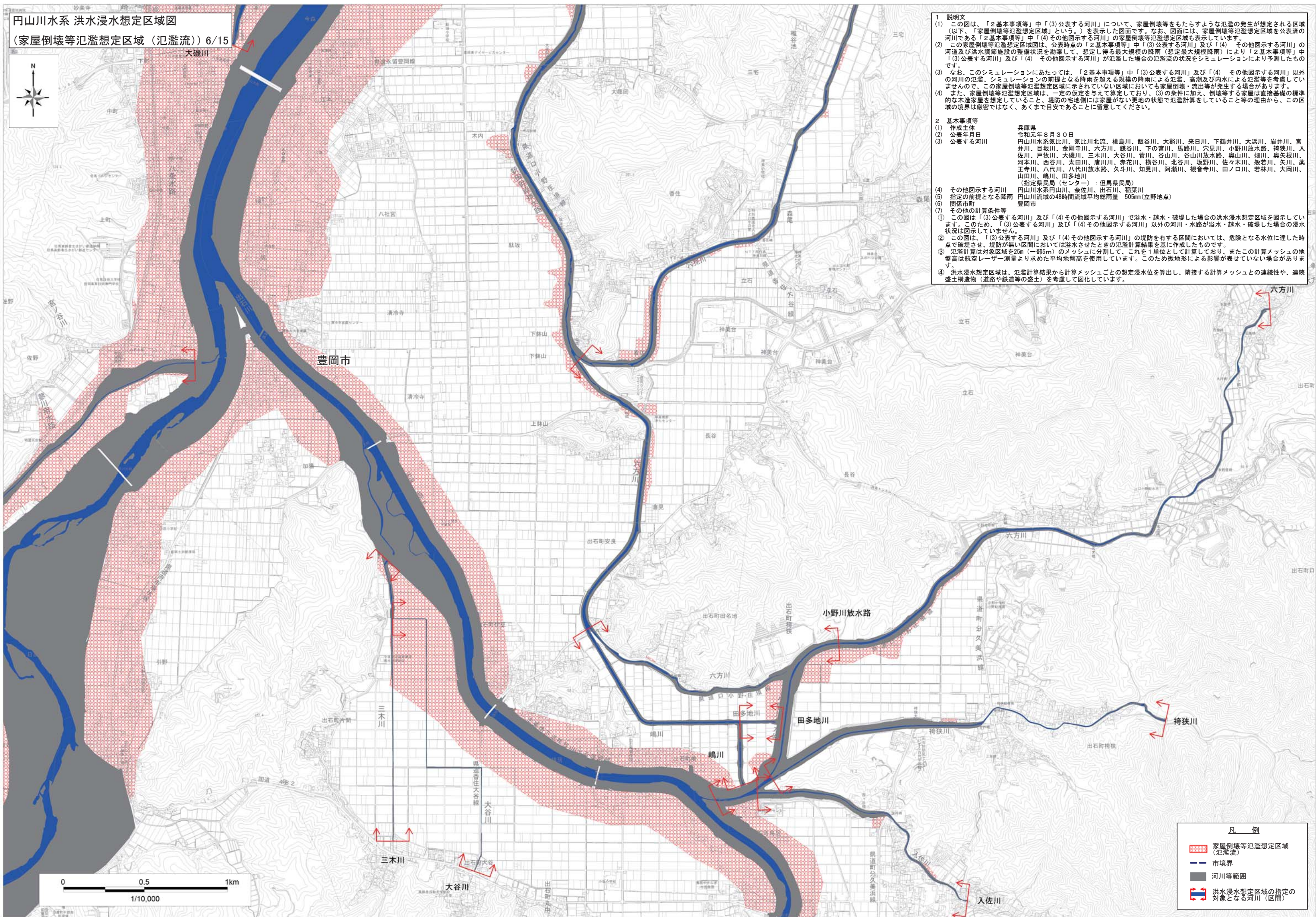
- 凡 例
- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)
  - 市境界
  - 河川等範囲
  - 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川 (区間)



この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。



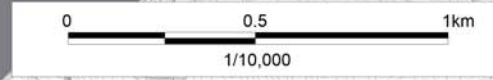
円山川水系 洪水浸水想定区域図  
(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)) 6/15



- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」という。)を表示した図面です。なお、図面には、家屋倒壊等氾濫想定区域を公表済の河川である「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」の家屋倒壊等氾濫想定区域も表示しています。
  - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4) その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(想定最大規模降雨)により「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4) その他図示する河川」が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4) その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に示されていない区域においても家屋倒壊、流出等が発生する場合があります。
  - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県  
令和元年8月30日
  - (2) 公表年月日
  - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大谷川、来日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大瀬川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、徳川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、般若川、矢川、薬王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、嶋川、田多地川  
(指定県民局(センター)：但馬県民局)  
円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲美川  
円山川流域の48時間流域平均総雨量 505mm(立野地点)
  - (4) その他図示する河川
  - (5) 指定の前提となる降雨 円山川流域の48時間流域平均総雨量 505mm(立野地点)
  - (6) 関係市町 豊岡市
  - (7) その他の計算条件等
- (1) この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
  - (2) この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
  - (3) 氾濫計算は対象区域を25m(一部5m)のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
  - (4) 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。

凡 例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 市境界
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川(区間)



この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。